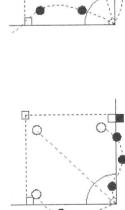
(6) キックされたボールが、フェア地域で守備側の競技者または 審判員に触れたとき。(第18図】【第19図】

●:ボールが地上に触れた地点。

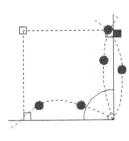
〇:ボールが止まった地点。

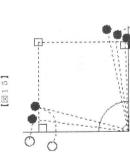
×:競技者がボールに触れた地点。

·······: ボールが通過した地点。 p·競技者 (1・繋判員)



X 1 4





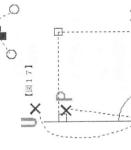


図16

[818]

[図18]

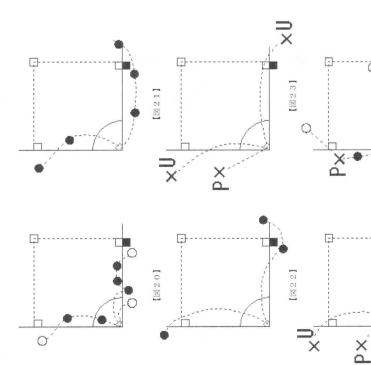
#### 2. ファウルキック

ファウルキックとはキッカーが正しく蹴ったボールでつぎのものをいう。

- (1) キックされたボールが、本塁~一塁または本塁~三塁間のファウル地域に止まったとき。 [第 20 図]
- (2) キックされたボールが、ファウル地域をバウンドしながら外野方向へ超えていくとき。
- (3) キックされたボールの最初に落下した地点が、外野のファウル地域であったとき。 【第 22 図】
- (4) キックされたボールが、ファウル地域で競技者または審判員 に触れたとき。 [第23・24・25 図]
- (5) キックされたボールが、キッカーズボックス内のキッカーに 触れたとき。ただし、キック後片足でもキッカーズボックス 外へ踏み出せばその時点からキッカーランナーとなる。従っ てフェア地域でキックされたボールに触れればアウトとなる。

- ●:ボールが地上に触れた地点。
  - 〇:ボールが止まった地点。
- ×:競技者がボールに触れた地点。
- ...... ボールが通過した地点。

#### P:競技者 D:審判員



### 第11章 ランナー

## 1. 進塁および逆走塁の順序

- (二) オレンジベース (補助ベース)
- a) キッカーランナーが、一塁を走り抜けるときはオレンジベースに触塁しなければならない。ただし、一塁でプレイが行われないときは白色・オレンジのどちらのベースに触塁してもよい。
- b) 一塁ベースを走り越した後は、キッカーランナーは白色ベースに帰塁しなければならない。
- 型をり越したランナーが一度でもフェア地域に入った場合は進塁の意志の有無を問わず触球されればアウトになる。
- (2) ランナーは進塁するとき正しく一塁・二塁・三塁・本塁の順に各塁に触れなければならない。
- (3) ランナーは逆走塁できるのはつぎの場合である。
- a) キックされたフライボールが飛んでいるうちにつぎの塁に進んだランナーが、そのボールが捕球されたのを見て元の塁に戻ろうとするとき。
- b) 進塁の途中で塁を空過したランナーが、そのボールが捕球 されたのを見て元の塁に戻ろうとするとき。
- c)後位のランナーが前位のランナーを追い抜きそうになり戻ろうとするとき。

# 2. インプレイ中にランナーが進塁できる場合

- (1) ランナーは投球がキックされたときから離塁できる。
- (単)キッカーが空振りしたとき塁から離れれば、離塁アウトとなる。
- (2) フェア地域に蹴られたボールが競技場内にあるとき。

[図24]